

「夕食サポート」 大阪市内へ拡大

7月23日(月)から大阪市内(城東区・鶴見区)のお届けがスタート! さらに8月6日(月)からは、東成区・生野区のお届けがスタート!

6月までに、枚方、寝屋川、交野、大東、四條畷、門真、守口で夕食サポートが始まりました。3月からのコースで夕食サポーター(お届けスタッフ)をしている木村洋一さんを取材しました。



不在時は玄関先のご指定場所に置いておきます(保冷箱に入れ、弁当箱は開けると判る帯封付)

夕食サポートって?

- 毎日違う献立でお届けします。
- 月曜～金曜の5日単位のご注文
- お弁当コースは ごはんとおかず(5品)が5日分で2,700円
- おかずコースは おかず(6品)が5日分で2,950円
- お届けは13時～18時



お弁当コース例 おかずコース例

「夕食サポート」のお問い合わせは

☎0120-114-284 (月～金曜 9:00～20:00 土曜 9:00～17:00) 携帯電話からは 0570-001-911 PHS・IP電話からは 072-817-4249(有料)

ホームページでもご覧いただけます <http://www.palcoop.or.jp/yushoku/index.html>

組合員たちの声

国産チキンローストレッグ 360g(2本) 冷蔵 7月3回 880円



西成支所 植松さん

7月3回に企画があると伝えると、今年のクリスマスもぜひ利用しようと思ってきました。市販のローストレッグで、食べる部分の骨をとってあるのはなかなかないので、息子も気に入って食べます。楽しみにしています。と声を頂きました。

パルコoopでは、組合員のみなさんから寄せられた声を、商品や運用の改善にいかすとりくみをしています。ホームページでもご覧ください。 <http://www.palcoop.or.jp/blog/koe/>

「国産チキンローストレッグ」普段も企画してほしい

遅くなりりましたが、メーカーのヨコオさんの協力で、「国産チキンローストレッグ」を企画できることになりました(今回は2本入りのみです)。今年のクリスマスには、組合員さんの声から新たに「塩味」の企画にも挑戦中です! またご感想をお聞かせください(商品部担当 福田さん)



笑顔で受取る小関さん

手渡してもいい話がある。元気がなるわ

サポーター(お届けスタッフ) 木村洋一さん



長年主婦をしてきたから、晩ご飯くらい自分で作らないと気がついていただけ、届けてもらい始めて、バランスの良いおいしい食事が取れるから健康になろうとしたので、食費は増えていないよ。(枚方市・小関さん・写真右上)

気づいたことを伝えたら、ちゃんと答えが返ってきたり、意見を記入してくれて、サポーターさんのことを知れたりとか、安心感があるわ。(枚方市・後藤さん)



NO.16

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を

6月半ばになり、岩手でも梅雨入りと発表されました。この間のボランティアバスの皆さんが活動された陸前高田市気仙町「上長部」地区の畑では、麦や菜種の実がしっかりとふくらみ、7月中頃には収穫期を迎えようとしています。また、皆さんで植えてもらったジャガイモも順調に育ち、9月からの収穫が待ち遠しいです。

地元のおとさん、おがさん達をはじめた仕事起こし(材木・木工品づくり、アクセサリづくりなど)も着実に進んでいます。特に材木は、被災地で再建が始まった公民館や番屋(漁師さんの作業小屋)、仮設住宅内の板材コンポスト(生ゴミから堆肥を作る)などの建設に伴う注文をいただき、製造・販売が忙しくなっています。

これから夏を迎え、畑の水やり・雑草取り、野菜の収穫、仮設住宅周りの草刈などで忙しくなる中、大阪からのボランティアを心からお待ちしております。

(NPO遠野まごころネットに常駐する パルコoopボランティア事務局・林さんより)



遠野まごころネットは岩手の地元NPOとしてボランティア活動を行ってきました。今回、距離にして1000kmも離れている大阪から、多くの方々に募金や物品、またボランティアに訪れて顔を見せ、話をしているの支援をいただきました。本当に言葉にしつけないほどの感謝でいっぱいです。被災地は少しずつ復興に向かっていますが、被災者は、自分たちのことが忘れられてしまうのではという不安・孤独感があります。どうぞ、これからも長い支援をお願いします。

(総代会での遠野まごころネット 副代表菊池新一様のご挨拶より)

第2回(5/3～5/6) 岩手ボランティアバス報告



壊れた建物やガレキが残ったままで

昨年からの東北へ行って何かお手伝いしたいのだけれど迷惑じゃないかなど迷ってばかりで行動に移せずにいました。現地ではただただ惨状に茫然とし、被災した方々のお話にめぐみえない悲しみを強く感じました。帰ってから、ごあるごに現地のようすを皆にご話しています。(住友ビル 西本みどりさん)

パルコoop、よどがわ市民生協・ならこoopの組合員さんによる岩手ボランティアバス(第2回)5月3日～6日は、計59名の組合員さんが参加しました。参加された組合員さんの声を報告いたします。

前日の雨により小川が氾濫したため、復旧の砂利敷き作業を急遽しました。地元の方と総勢20名で全力を尽くし車が通れるようになったとの連絡に、底知れぬ喜びを感じました。熱い仲間と作業できたことが良かったです。(都島区・吉野広信さん)



生活道路の復旧作業

参加者募集 第7回～第8回「岩手ボランティアバス」

企画回	実施日	申込締切	【募集定員】
第7回目	8月9日(木)～8月12日(日)	7月13日(金)	各回20名
第8回目	8月17日(金)～8月20日(月)	7月20日(金)	(3生協で60名)

応募者多数の場合は初めての方を優先し、抽選とさせていただきます。【参加費】8,700円(ボランティア保険・宿泊費、食事代など含む)

【行程】3泊4日(車中2泊) 1日目 パルコoop本部(京橋)集合(18時)＜車中泊＞ 2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動(終日)＜宿舎泊＞ 3日目 ボランティア活動(午前)、被災地視察(午後)＜車中泊＞ 4日目 パルコoop本部前到着(9時頃)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方。複数参加可。

*ボランティアの内容は、現地での要請に基づいて活動します。 *持ち物などの詳細は、別途参加者にご案内します。 *天候不順により中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコoop理事会室 ☎06-6242-0904 (月～金 9時～18時)

福島県の被ばく量検査機器購入募金と署名活動にご協力ください

この間のさまざまな募金へのご協力ありがとうございます。福島県内の生協で、放射能検査機器と内部被ばく検査のための機器購入のため、支援募金を受け付けています。募金は日本生協連を通して、福島県生協連へお届けします。また、「あんしん福島を取り戻すための署名」にご協力をお願いいたします。【募金方法】7月2回～8月5回OCR注文書 6ケタ注文番号「001417」 ※「1」と記入すると100円の募金になります。 店舗・組合員会館は、募金箱を設置します (8月31日まで)

詳しくは先週配布の別チラシ、HPで掲載しています。署名用紙は、チラシ裏面または、HPよりダウンロードください。 http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/fukushima.html

*ボランティアバスのご案内は、ホームページでも掲載しています。 http://www.palcoop.or.jp/pal_news/information/tour2.html